

平成29年度 二島中学校便り

学力特集号

平成29年12月15日

北九州市立二島中学校

平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成29年4月18日(火)に、3年生を対象として、「教科(国語、数学)に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

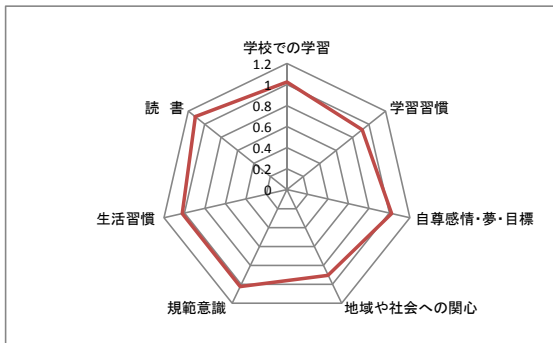
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語A	・全体的に全国平均を若干上回っている。 ・読むこと(読む能力)に関して、自分の考えを持ち、広めたりすることにやや課題がある。 ・国語が好きである生徒も全国平均を上回っている。	上回っている
国語B	・全国平均と同程度である。 ・文章構成したり、場面展開や登場人物の内容理解にやや課題がある。 ・資料を効果的に使ったり、情報収集の見通しを点てたりすることにおいて、すぐれている。	同程度
数学A	・全体的に全国平均よりも下回っている。 ・文字を使った式の計算等において課題がある。 ・見取り図の問題は、すぐれている。	下回っている
数学B	・全体的に全国平均よりも下回っている。 ・図形や関数の意味理解が課題である。 ・資料情報を読み取ったり、問題解決の方法を説明することにおいてすぐれている。	下回っている

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
<成果> ・「失敗を恐れない」「将来の夢・目標」「困っているときに助ける」「話し合い活動」「めあて・まとめ、振り返り」「読書活動」等については全国平均を上回っている。
<課題> ・「家庭学習時間」「最後まであきらめずに努力する」「地域や社会への関心」等については全国平均を下回っている。 ・自学ノートの充実で、家庭での学習時間を増加させたい。 ・地域活動へ参加する機会を徐々に増やしていく。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組(全校で・学年で・学級で)

- ・現在取り組んでいる「朝自習(読書→視写→国・数・英基礎問題→定期考査予想問題→明日への伝言板)」家庭学習(自学ノート)」「授業改善」等の取組を継続していく。
- ・数学では、計算力の定着に重点を置くとともに、思考力・判断力・表現力の育成を図る。
- ・言葉や文章の理解を中心に、自分の考えを根拠を持って相手に伝える力を育成していく。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- ・自学ノートを継続し、内容のレベルアップを図る。
- ・家庭での学習時間を伸ばしていく。
- ・地域社会への関心はあるものの、参加率が低迷しているので、生徒会や部活動を中心に、地域行事にできるだけ参加する。
- ・携帯、スマホ使用について、家庭での取り決めを守るように、保護者に協力してもらう。また、取り決めがない場合は、早急に作成してもらうよう啓発する。